



風力発電等に係る環境アセスメント基礎情報整備モデル事業 (経済産業省連携事業)

平成28年度予算(案)
888百万円(1,173百万円)

背景・目的

- 風力発電等の早期導入に資することを旨とし、環境影響評価に活用できる環境基礎情報（貴重な動植物の生息・生育状況等の情報）のデータベース化及びその提供を通じて、質が高く効率的な環境影響評価の実施を促進する。

期待される効果

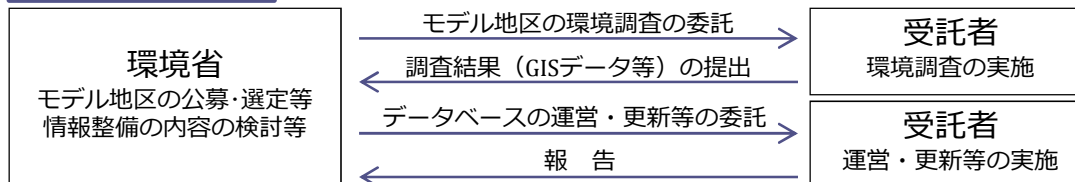
- 環境基礎情報の整備及び提供により環境影響を回避・低減
- 事業者による情報の活用を促し、環境影響評価の迅速化（通常3～4年程度の期間を概ね半減）を図ることにより、風力発電等の早期導入を促進

事業概要

- (1) 情報整備モデル地区の環境基礎情報の調査
- (2) 環境アセスメント環境基礎情報データベースの整備・更新等
※平成28年度は、洋上風力関係の情報の充実・更新、これまでの結果のとりまとめ及び情報の活用促進を図る。

事業目的・概要等

事業スキーム



イメージ

モデル地区の環境基礎情報の調査

- モデル地区の選定（環境省、地方自治体）
陸上風力 / 洋上風力 / 地熱
- 文献調査、現地調査、ヒアリング調査
 - ・渡り鳥の飛来ルート
 - ・猛禽類の営巣状況
 - ・動植物の生息・生育状況等

全国の地域既存環境情報の収集

- 土地利用規制等の情報
- 動植物の分布情報
- 国内外の技術情報



環境アセスメント 環境基礎情報 データベース

- ・ データベースとして整備・提供
- ・ 地図情報はWEB-GISで閲覧可能

閲覧・情報の活用

風力発電等事業者

- ・ 初期の立地調査や現況調査の省略・効率化
- ・ 事業の円滑化（期間短縮と環境調査費用の低減効果、環境問題化するリスクを軽減）

住民、地方自治体

- ・ 情報を閲覧し、風力発電事業等の環境影響評価手続に関与することで、情報交流が拡大